

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学8							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	2年	1期	原田光就		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位		
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1		
科目概要							
肘関節・手関節部の損傷について、臨床現場で見かけることの多い外傷である。それに関わる解剖学的構造と機能を復習し、同時に学んでいくことで理解を深めていく。							
目標							
一般目標 (GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	肘関節部の脱臼、軟部組織損傷及び手関節部の骨折を解剖学的構造から把握して、その発生機序や症状、合併症や治療法などについて学び、臨床現場で見逃さない為の知識を習得する。						
	1. 肘関節部の構造・機能等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 2. 肘関節の脱臼についての概説・分類・発生機序・症状・合併症・整復・固定・後療法等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 3. 橈骨頭単独脱臼(モンテギア骨折)の概説・分類・発生機序・症状・合併症・整復・固定・後療法等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 4. 肘内陣について概説・発生機序・症状・鑑別診断・合併症・整復・固定・後療法等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 5. 肘関節部の靭帯損傷について概説・分類・発生機序・症状・合併症・整復・固定・後療法等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 6. 野球肘について概説・分類・発生機序・症状・合併症・整復・固定・後療法等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 7. テニス肘について概説・分類・発生機序・症状・合併症・整復・固定・後療法等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 8. ハンナー病、変形性肘関節症、注意すべき疾患についての概説・分類・発生機序・症状・合併症・整復・固定・後療法等について、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。						
到達目標 (SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)							
履修に必要な予備知識や技能							
上肢、特に肘関節部の解剖学的要素を理解・想像できていることが、この科目で学ぶ損傷を理解する為に重要になります。1年次に学んだ骨や筋肉、そして神経や血管等を改めて復習しましょう。							
教科書・参考書							
柔道整復学 理論編第6版							
受講上の注意							
不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので担当教員に確認してください。 授業に必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。なおスマートフォン等は鞆にしまってください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	90		10				0
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	肘関節の解剖学的特徴			P.263~	柔道整復学 理論編第6版		
第2回	肘関節の脱臼①			P.279~	〃		
第3回	肘関節の脱臼②			P.281~	〃		
第4回	肘関節の脱臼③			P.283~	〃		
第5回	肘関節部の軟部組織損傷①			P.285~P.287	〃		
第6回	手関節部の損傷①			P.304~	〃		
第7回	手関節部の損傷②			P.307~	〃		
第8回	手関節部の損傷③			P.310~P.313	〃		
第9回	これまでの復習				〃		
第10回	定期試験				〃		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院、救急指定医療機関に勤務、また開業時の実務経験をもとに症状、治療法、固定法、後療法について話をします。							
メールアドレス							
harada-t@nihonisen.ac.jp							